

グループホーム

1、事業所概要

(1) 場 所 共同生活住居 4 ホーム

共同生活援助 すみれ荘 定員 5名	下郷町湯野上字居平乙 8 3 6 - 3 - 2 主たる事業所と共同生活住居
共同生活援助 さくら荘 定員 6名	下郷町豊成字檜原 2 1 1 4 共同生活住居
共同生活援助たんぽぽ荘 定員 6名	南会津町田島字田部原 4 1 - 2 共同生活住居
共同生活援助ひまわり荘 定員 5名	下郷町豊成字檜原 2 4 8 9 共同生活住居

(2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 定員 22名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活をおくる居住において、入浴・排泄の援助、食事や洗濯、掃除などの家事、生活に関する相談を提供した
-----------------------	---

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1	1				
	生 活 支 援 員	1	1				
	世 話 人	6			6		非常勤：7時間勤務
合 計		9	2	1	6		

(平成27年3月末現在)

3、利用者の状況（平成27年3月末現在）

(1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
すみれ荘 定員 5名	5人	0人	5人
さくら荘 定員 6名	0人	5人	5人
たんぽぽ荘 定員 6名	4人	2人	6人
ひまわり荘 定員 5名	4人	0人	4人

(平成27年3月末現在)

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
すみれ荘 定員 5名	0人	4人	1人	0人
さくら荘 定員 6名	0人	5人	0人	0人
たんぽぽ荘 定員 6名	0人	4人	2人	0人
ひまわり荘 定員 5名	1人	2人	1人	0人

イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
すみれ荘	0人	3人	2人	0人	0人	0人	0人	2.4
さくら荘	0人	4人	0人	1人	0人	0人	1人	2.4
たんぼぼ荘	0人	4人	1人	0人	0人	0人	1人	1.8
ひまわり荘	0人	1人	2人	0人	0人	0人	1人	2.0

(3) 年間利用状況

事業名/利用項目	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
すみれ荘	365日	5人	1750人	95.8%
さくら荘	359日	6人	1980人	91.9%
たんぼぼ荘	365日	6人	2190人	100%
ひまわり荘	325日	5人	1260人	77.5%

4、 提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者及び家族の移行に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供 衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援を実施した 入浴・排泄・身体等の介護を実施した
夜間体制支援（夜勤）従事者による支援	夜間支援（夜勤）従事者を配置し、夜間の時間帯を通じて定時 ホーム内巡回や緊急時の支援等を提供した
夜間体制支援	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘・サービス管理責任者専用 携帯・警備会社委託）、安全な生活を提供した
生活相談	利用者・家族の方の生活全般の相談援助を実施した
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障がい程度健康状態を把握し、 バイタルチェック、定期健診、感染予防に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水外套の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき、 事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内の伝達講習会にてサービスの 質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施。 月2回のケア会議で諸問題に対する世話人間の共通認識を図った
地域住民との連携	地域行事、活動に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が 深まるよう努めた
余暇活動	余暇の有意義な過ごし方について支援を行なった
送迎の支援	買い物支援、定期受診など送迎支援を提供した

5、主な行事

4月	お花見・保護者会総会	10月	秋祭り
5月	GH顔合わせ会	11月	芋煮会
6月	ドライブ・買い物	12月	クリスマス・忘年会
7月	会津田島祇園祭	1月	新年会
8月	花火大会	2月	日帰り温泉旅行
9月	旅行（1泊2日）	3月	食事会（自治会長・副会長選任）

6、研修

外部研修	①障がい別課題研修、制度に関する研修等 ②サービス管理責任者研修 ③グループホーム関係研修、視察研修、インシデントプロセス法研修会 ④法人職員全体研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方を確認、反省
自己啓発	①講演会や研修会に自発的に参加できるよう随時情報を提供した

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾い）に努めた

8、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	各ホーム内清掃・周辺清掃
9月	各ホーム内清掃・周辺清掃
12月	雪囲い・大掃除
その他	各ホーム内清掃・トイレ掃除は世話人・利用者（当番制）で実施した

9、保健衛生

利用者の健康維持を推進	○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し利用者が健康で過ごせるよう支援した ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて速やかな対応に努めた ○利用者への健康診断（血液検査・胸部レントゲン検査等）を実施し利用者へ診断結果の情報を提供する。必要時、嘱託医より結果説明・指導を行なった
感染症対策	○流行の感染症を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、各ホーム内での発生予防に努めた ○感染症発生時には発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた
安全衛生対策	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた ○職員の健康診断を行ない、生活習慣病の予防に努めた
職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策マニュアルの配置。血糖値測定キット、パルスオキシメーターの使用方法等の説明等を実施した

10、給食管理

【基本方針】
○利用者個々の状態や疾病に適した食事の提供 ○利用者のニーズに合った喜ばれる食事の提供 ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
【内容】
①楽しみのある食事の提供した ＜実施内容＞ ●利用者の声に応え、「楽しさ」「美味しさ」が感じられる食事提供に努めた ●季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を伝えていくよう工夫した ●利用者の誕生会では希望食を取り入れ、楽しんで食事の時間を過ごすよう心掛けた
②一人ひとりの健康を支えた ＜実施内容＞ ●一人ひとりの喫食状況に合わせた食形態を提供し、糖尿病や高血圧の利用者にも食べやすいメニューを提供した
③食の安全に取り組んだ ＜実施内容＞ ●利用者、職員共に衛生面に注意し、食中毒、感染症対策に努めた

11、防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
【内容】
防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした 防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、避難訓練の実施、利用者へ防災知識の説明を実施した

【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防災マニュアルの点検・整備防火設備の確認	職員で防災マニュアルの確認・点検防火設備を点検
5・6	避難訓練	体制整備、避難場所・経路の確認、防災用具の確認
9	利用者への説明	非常口の確認、非常ベルの確認

12、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた
緊急時等における対応方法	共同生活援助の提供を行なっている時に利用者に病状の急変が生じた場合、その他必要な場合は速やかに医療機関へ連絡を行なう等の必要な措置を講じた
夜間体制支援	夜間及び深夜の時間帯を通じて、利用者に緊急の事態が生じた時に、利用者の呼び出し等に速やかに対応できるよう常時の連絡体制を確保（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）するとともに緊急時の連絡先、連絡方法を共同生活住居の見やすい場所に掲示した
送迎車両の運転	送迎車両の利用時等、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた